

日時：令和 2 年 6 月 29 日（月）15 時～17 時

場所：尼崎市 市政情報センター PC ルーム

（対応等） = 意見反映等の方向性についての事務局（案）を記載しています。

発言者	内容
委員	資料 1 の 2 ページ、■の 5 つ目、「単に医療・介護サービスの需要が増えることを意味するだけでなく・・・」の「意味する」の表現が断定的でよくない。 （対応等） 資料を修正し、8/18（火）の分科会で使用します。
委員	第 7 期の PDCA、計画の評価は第 8 期計画に載せないのか。 →PDCA は 7 月 20 日の全体会で報告する。市民ニーズも含め、評価を加えていく。 （対応等） 上記事務局回答のとおり進めます。
委員	終末期の内容は計画に入るのか。 →計画に入れる方向で検討していきたいが、具体的な記載については未定。 （対応等） 上記事務局回答のとおり進めます。
委員	計画策定にあたっての 3 つの視点の「計画冊子のコンパクト化」について。尼崎市は全体的にそのような方向になっているのか。 →市民にみてもらえるようにコンパクトにしていくのは、本計画だけでなく、全庁的な方向になっている。
委員	冊子に親しみを持ってもらうことは重要。QR コードを付けることも非常に良い。観光施策のほうではポイントが付くようなもの（事業）がある※。見てもらってポイントをつけるのは難しいと思うが、若い人に見てもらって、意見がもらえるような仕組みをつくれなから。 →若い人に意見をいただく、理解いただくのは重要なこと。どのようなことができるかは、庁内で検討する。 ※ふるさと納税の返礼品でホテルでの宿泊等に利用できるポイント付与を実施（令和元年 12 月から） （対応等） 親しみを感じ、手にとってもらいやすい計画冊子づくりを目指すとともに、実際に出前講座等で計画を使うことで、様々な方との意見交換等が可能になると考えています。
委員	基本理念にある「尊厳を持ちながら・・・」の部分、高齢者自身がいろいろ与えてもらえるというイメージがある。もらうというより、高齢者自身が参画する、舞台が

発言者	内容
	<p>あるというような積極的なものにならないか。 →ご指摘の通りなので、「高齢者主体」が全面に出るような表現で検討する。</p> <p>(対応等) ご意見を取り入れ、たたき台を作成しています。</p>
委員	<p>「取組の視点」は第 8 期計画の体系では、「基本理念」と「展開方向」の間にくるイメージ。</p>
委員	<p>台風や新型コロナウイルスなど、突然のアクシデントにより、デイサービスが利用できないなどの実態がある。難しいかもしれないが、第8期においてはリスクマネジメントについて触れることはできないか。 →検討する。</p> <p>(対応等) 7期のPDCAにおいてご意見を踏まえた評価を盛り込みました。第8期計画における取扱いについては7期の評価を踏まえ、検討します。</p>
委員	<p>理念について、外国人の方がみたととき、わかりづらい。「生きがい」という言葉は外国になく、日本人には伝わるが外国人にとっては捉えにくい。「安心」や「多様な」というのも文脈によって振れ幅が大きくなるフレーズであるため、表現にあたっては慎重に。 →現在、高齢者計画だけでなく人権計画の策定も進んでいる。その計画と整合を図るとともに、計画の多言語化も検討していく。</p> <p>(対応等) 尼崎市に住む外国人の方や、これから尼崎市に住む予定の外国人の方の日常生活をサポートする情報を、英語、中国語、韓国語、ポルトガル語、ベトナム語の5か国語にまとめた「あまがさきスタートガイド」を発行しているところであり、その中で介護サービスの利用や介護予防・健康づくりに関する相談窓口について説明しているところです。現時点で本市において行政計画の多言語化には至っておりませんが、人権計画とも整合を図る中で検討していきます。</p>
委員	<p>理念について、総合計画・地域福祉計画との整合を図ることになるが、理念に「支え合い」というのを入れたい。また、現在「安心」はあるが、「安全」がない。「安全」は客観的なものになると思うので、入れてほしい。「安全」にはリスクマネジメントの要素も入るのではないかと思う。</p> <p>(対応等) ご意見を取り入れ、たたき台を作成しています。</p>
委員	<p>「共生社会」について、理念に盛り込むことになろうかと思うが、共生社会を考えたとき、障害のある人、精神に障害のある人など、多様な人が地域に出られる、活躍できるようなものになれば。それをどう伝えていくのか。 →障害のある人や高齢者の参加というのが地域共生社会につながると思うため、そうした考えを計画に反映する。</p>
委員	<p>ターミナル、終末期の内容は第7期にあるのか。本人や家族の方は「ずっとここに</p>

発言者	内容
	<p>居られるのか」といった不安が生じることもあると思う。「いつまでも」というのにも終わりがある。</p> <p>→終末期そのものに対する具体的な記述はないが、医療・介護連携だとか、そういったものはある。看取りについてはアンケートでも尋ねており、第8期では一定盛り込めると考えている。</p> <p>(対応等) 上記事務局回答のとおり進めます。</p>
委員	<p>「あまつなぎ」など、進んでいる施策もある。他市や他県から評価を受けている部分でもあるため、計画でもPRしてほしい。</p> <p>(対応等) 多職種の協働といった面における本市の「つよみ」として捉えていきたいと考えています。</p>
委員	<p>認知症の推計について、出しにくいと思う。推計1と推計2の乖離も気になる。業務を通じて、認知症に関する相談や警察の人が出ていく件数というのが急激に増えている状況にある。ほかの推計方法がないか。そこが気になる。</p> <p>→認知症自立度Ⅱa以上というのも無理があるが、全国の比較ができるものとして、そこしか基準がないという状況もある。引き続き、検討していく。</p> <p>(対応等) 上記事務局回答のとおり進めます。</p>
委員	<p>今後の推計にもよると思うが、今後保険料は上がるのか。</p> <p>→今後の推計によるが、上がる見込み。</p>
委員	<p>尼崎市は高齢化率、認定率が高く、重度化している状況にあるのか。リハビリ関係の仕事をしているが、予防給付の伸びが高いのが気になる。個人的には減ってほしい。高くなっている原因とか、評価はどうなのか。</p> <p>→状態が悪いというのも見方の一つだと思うが、介護状態になるのを止めているから予防状態に留まっているから予防給付が高いという見方もできる。</p> <p>(対応等) 予防給付の伸びの要因として考えられる要素について、認定率のほか、サービス受給率の比較など、更に分析を深めます。</p>
委員	<p>介護保険がスタートしたころは、保険料が3,000円ぐらいだったと思うが、今は全国の平均で5,600円ぐらい。生活に関わることだと思うし、重度化を防いでいくといった表現は可能か。</p> <p>→検討する</p> <p>(対応等) 介護予防＝サービス抑制 とならないよう表現に気を付けながら重度化防止の重要性について計画に表現していきます。</p>
委員	<p>総合事業のサービスC（短期集中型のサービス）の実施を検討してほしい。</p> <p>(対応等) 他市の実施事例等を参考に、本市でのあり方について検討していきます。</p>

発言者	内容
委員	<p>給付について、さきほど予防が伸びている、といったことに対して「要介護に陥らず、食い止めができています」ということをひとつの仮説として報告いただいた。保険料しかり、数値を出すときには見せ方が重要になる。同じ数値でも見せ方で「なるほど」なのか「結局そういうことか」と評価は変わる。数値をしっかりと分析に使っていく必要があると思う。</p> <p>(対応等) 給付実績やアンケート調査結果について分析を加えながら、数値を出す目的や意味をしっかりと捉えていきます。</p>
委員	<p>尼崎市は認定率が高い。40～60歳の働く世代の健康づくり、民間施設の利用も視野に入れた健康づくり施策が必要ではないか。</p> <p>→健康無関心層へのアプローチも含め、ヘルスアップ関係の部署とも連携しながら進めていく。</p> <p>(対応等) 上記事務局回答のとおり進めます。</p>
委員	<p>資料3（尼崎市の現状）と資料4（将来推計）にひとり暮らし高齢者の内容も入れてほしい。</p> <p>(対応等) ご意見を取り入れ、たたき台（8月の部会予定）を作成します。</p>
委員	<p>「地域共生社会」に関する内容や社会福祉法の改正などの内容を考えていくと、高齢者保健福祉計画が重要になってくる。財政的に考えれば介護保険事業計画のほうが大きいですが、内容・意味合いを考えると高齢者保健福祉計画が重要になってくると思う。</p> <p>また、第9期計画も視野に入れる必要がある。要介護1・2が外されるという話もある。次回、大きな改正も考えられることから第9期も見据えた整理が必要ではないか。要支援や要介護1・2の人を予防の面も含めて緻密にみていくことが大事になるものと思われる。</p> <p>また、介護人材に関する内容も重要。コロナの影響により高齢で生活援助していたヘルパーも辞められたなどの話も聞いている。</p> <p>「住まい」をどう書くか。サ高住の確保だけでなく、サービスの確保も重要。リストアップするだけではないと思う。</p> <p>(対応等) 要介護1・2の方も含め、要介護度や住まい、世帯構成などによるサービスの使い方の特徴や、サ高住における在宅サービスと特養等施設サービスの比較など、分析を更に深めます。</p> <p>また、人材確保に関しては介護人材実態調査を実施し事業者の現状把握・課題分析等を深めるとともに、課題解決に向けた施策の実施について検討してまいります。</p>

第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定の工程について

参考資料 2

第8期計画	第1回目 6月29日	第2回目 7月20日	分科会 8月18日(仮)	第3回目 8月24日(仮)	第4回目 10月中旬	第5回目(仮) 10月下旬	分科会 10月下旬	分科会 1月中旬	(参考) 第7期 (ページ)
計画本編			進捗状況の報告等						
1 ページ目 表紙									
基本理念	●	たたき台		(修正)	素案		素案	答申案	29
基本理念の説明	●	たたき台		(修正)	素案		素案	答申案	29
2～5 ページ目 高齢者の状況・2040年までの将来推計・計画の位置づけ									
高齢者人口・ひとり暮らし高齢者等(これまでの状況)	●			たたき台	素案		素案	答申案	6～28
高齢者人口・ひとり暮らし高齢者等(推計)	●			たたき台	素案		素案	答申案	
健康寿命・平均寿命	●			たたき台	素案		素案	答申案	
介護(予防)給付費				●	素案		素案	答申案	
保険料				●	素案		素案	答申案	
6 ページ目 計画の位置づけ等									
計画の位置づけ(法的根拠)					素案		素案	答申案	1～4
計画の期間					素案		素案	答申案	
7 ページ目 施策の構築・推進にあたって									
	●	たたき台		(修正)	素案		素案	答申案	- (新)
8 ページ目 展開方向・基本目標と取組の方向性									
展開方向1	●			●	たたき台or素案	(素案)	素案	答申案	29～88
展開方向2	●			●	たたき台or素案	(素案)	素案	答申案	
基本目標 1～7	●			●	たたき台or素案	(素案)	素案	答申案	89～98
取組の方向性(※イメージ(旧 重点取組事項))		●		●	たたき台or素案	(素案)	素案	答申案	
・(介護予防・重度化防止への取組)		●		●	たたき台or素案	(素案)	素案	答申案	
・(認知症に対する取組)		●		●	たたき台or素案	(素案)	素案	答申案	
・(医療・介護連携に関する取組)		●		●	たたき台or素案	(素案)	素案	答申案	
・(高齢者支援の相談窓口における対応力強化の取組)		●		●	たたき台or素案	(素案)	素案	答申案	
・(助け合い、支え合いへの取組)		●		●	たたき台or素案	(素案)	素案	答申案	
・(担い手づくりの推進)		●		●	たたき台or素案	(素案)	素案	答申案	
9 ページ目 取組に係る指標									
・取組の方向性に対する評価指標				●	たたき台or素案	(素案)	素案	答申案	99～102
10 ページ目 介護給付サービスの見込み				●	素案		素案	答申案	108～118
11 ページ目 施設サービスの整備目標		●		●	素案		素案	答申案	
12 ページ目 市町村特別給付・保健福祉事業									
(実施する場合に記載) ※要検討		●		●	たたき台or素案	(素案)	素案	答申案	120
13 ページ目 第8期計画における介護保険料					素案		素案	答申案	127
14 ページ目 計画の進捗管理									
PDCAの方法について					素案		素案	答申案	5

「●」
方向性の共有
等により意見
交換等を行う
段階

「たたき台」
たたき台をもと
に、意見交換
等を行う段階

「素案」
素案をもとに、
意見交換等を行
う段階

「答申案」
答申案をもとに、
意見交換等を行
う段階